

# 山口県教育

Education of the Yamaguchi prefecture

明日を拓く — 成果を検証する —

# 9



平成30年度 第71回山口県学校美術展 推奨作品  
 「天までとどけ! ほしご車」  
 山口市立大殿小学校 4年(受賞時) 渡邊 広喜

### ■時を読む

防府市教育委員会 教育長 江山 稔

### ■シリーズ「人・任・仁②」

#### ■インタビュー・この人

山口大学教育学部附属山口小学校  
 栄養教諭 瓦屋 大志

#### ■新しい職務

##### 【教諭】

光市立光井小学校 教諭 井上 七海  
 柳井市立大島中学校 教諭 池田 幹太

##### 【養護教諭】

山陽小野田市立赤崎小学校  
 養護教諭 河井結紀子  
 萩市立田万川中学校 養護教諭 中島あすか

##### 【高校教諭】

山口県立山口高等学校 教諭 児玉 大英  
 山口県立萩高等学校 教諭 井本 和晃

#### ■やまぐち見てある記

日本ハワイ移民資料館

#### ■柳井大会案内

### あなたのアクションは…

山口県教育会がすすめる  
 「元氣やまぐち」三つのアクション

- ◎あいさつ 返事で 明るいやまぐち
- ◎笑顔でつなく 安心やまぐち
- ◎ゴミ 落書きのない 美しいやまぐち

一般財団法人 山口県教育会

〒753-0072 山口市大手町2-18 TEL 083-922-0383 FAX 083-922-5768

URL <http://www.ykoyoikuk.or.jp> E-mail [ykoyoikuk@ruby.ocn.ne.jp](mailto:ykoyoikuk@ruby.ocn.ne.jp)

明治36年4月第1号 毎月1日発行 発行人 会長：倉増誠彦／編集長：山本晃久



# 令和の時代は防府の時代



防府市教育委員会  
 教育長 江山 稔

新元号「令和」の時代がスタートしました。令和の由来となった万葉の時代は、防府に「周防」の「国府」があり、周防国分寺が創建されるなど、防府がとも輝いていた時代です。

また、元号の出典「万葉集」の歌に詠まれている梅は、防府市の花木であり、「令和」の「令」の字を含む地名は全国に十一か所、その内の八か所が防府市に存在します。



防府天満宮花回廊 (5月1日)

## 地域の子どもは地域で育てる

防府市では、変化し続ける時代の中にあつて、自分の意見を相手に発信できる主体性や積極性をもった若者、思いやりの心や協調性、道徳性を有し、一人の人間として社会で自立できる若者を育てていきたいと考えています。

平成二十四年度に全ての市内公立小中学校をコミュニティ・スクールに指定し、平成二十七年には「地域まるごと学校『防府モデル』」を作成して、学校と公民館が核となった「地域連携教育」のしくみを構築しました。公民館の社会教育指導員がコーディネーターの役割を担い、学校教育と社会教育が一体となった地域全体の取組として、小中連携、学校運営、学校支援、地域貢献等を進めており、「防府の子どもは防府で育てる」という熱い思いが、地域全体に溢れています。

## 土曜授業の成果

防府市では、「学校、家庭、地域」が連携して開かれた学校づくりを推進するとともに、各学校の特色を生かした教育活動を充実させる」という目的のもと、平成二十五年度から「土曜授業」を進めてきま



昔の遊び体験 (玉祖小)

した。五年経過後に実施したアンケート結果からは、児童生徒や教職員の負担等の課題はあるものの、「保護者や地域の人が学校に行きやすくなった」、「地域や保護者と連携した活動が充実した」など、学校・家庭・地域が総掛かりで子どもたちの成長を促していることとする気運の醸成が見られ、地域の教育力の向上や地域と連携した教育が軌道に乗ったことが確認できました。そこで、今後は土曜授業を見直し、地域全体の取組を加速させ、児童生徒が、より充実した週休日を過ごすことができるよう、それぞれの地域で協議し進めていくことにしました。

## 生き生きとした教育活動を創る

今、まさに変化し続ける時代です。教員は常に子どもと共に学び続ける気持ちをもたなければなりません。自らを研鑽する時間をつくり、仕事に真摯に向き合い、生き生きとした教育活動を創造してほしいと考えています。

そのために、先生方には心も身体も、元氣であつてほしい。そして、子どもたちに寄り添い頑張る先生方を管理職がしっかりと認め、褒める。教育委員会は、各学校の取組を正確に把握し、認め、好事例をどんどん広めていく。先生方の元氣な笑顔が、子どもたちの心に響く教育につながると信じています。「大丈夫、ちゃんと見ています!」

## 日々是好日

幕末の長州藩士高杉晋作の上の句に、女流歌人野村望東尼(桑山に眠る)が下の句を詠んで完成させた歌があります。

おもしろき こともなき世を おもしろく  
 すみなすものは 心なりけり  
 〈それは、あなたがどのように思うかですよ〉

要は、心のもちようです。教育のまち防府、歴史と文化のまち防府で、一緒に学びませんか。

山口県では比較的少ない男性栄養教諭の一人として、食育で活躍しておられる瓦屋大志先生にインタビューさせていただきました。



山口大学教育学部  
附属山口小学校  
栄養教諭 瓦屋 大志

**Q** 山口県では数少ない男性栄養教諭と伺っていますが、栄養教諭を目指されたきっかけをお聞かせください。

大学の生活科学部で栄養教諭の資格取得をめざして栄養教育学を学んでいた折に、大学の先生から「公立小学校で行われる食に関する指導の手伝いをしてみないか」と誘われて、授業の手伝いをしました。確か低学年で、三つの栄養素のはたらきから、バランス良く食べることの大切さを学習する授業だったと記憶しています。初めてのことで緊張もあつたのですが、小学校の栄養教諭の先生のはたらきかけに対する子どもたちの笑顔や反応に、意外さや楽しいことがたくさんあり、エプロンをかけてサポートしていた私自身が、食に関する指導に楽しさとやりがいを感じ、「栄養教諭として頑張ってみよう」と思ったことがそもそものきっかけでした。

その後で大学で栄養教諭をめざして勉強しながら、大学の「お弁当の日」の取組の立ち上げに加わったり、戦隊ヒーローをモデルにした「食育戦隊ゴハンジャー」に扮して食育プログラム開発チームの活動を行ったり、子ども们的キャンパスに参加したりと、いろいろなことをさせてもらいましたが、やはり授業に参加させていただいたことは、大きなきっかけとなりました。

採用当時、男性栄養教諭は山口県内で一人でした。附属光小学校の栄養教諭として六年間勤務したのち、附属山口小学校に転勤し現在四年目を迎えています。男性栄養教諭も少しずつ増えており、現在は山口県内で三名が勤務していると聞いています。

**Q** 附属山口小学校では、どのような食に関する指導を実践しておられるのですか。

附属山口小学校は、隣に附属幼稚園、すぐ近くに附属山口中学校、さらに山口大学近くには附属特別支援学校があり、しかも、附属幼稚園と附属山口中学校には給食がないということで、前勤務地の附属光小学校とは全く状況が異なっています。現在は、附属特別支援学校の栄養教諭を兼務し、学校や園の状況に応じて、食に関する指導を計画的に行っています。

学校給食については、地産地消の取組はもちろんですが、その上で、毎月いろいろな国の料理や県外の郷土料理を提供したり、季節や子どもたちの学習に合わせた食材を使ったりしています。そうすることにより、家庭で少しでも食を話題として親子のコミュニケーションが豊かになつてもらえればと思っています。子どもたちからの評判はよく、食育アンケートでは九十五%の子どもが「給食が好き」と答えています。

食に関する指導については、理想とするところは、一時的なものにならず、子ども意識が継続する中で徐々に力を蓄えていくことができるような指導がしたいと思っています。自分なりに考えながら実践しているつもりですが、関連する教科が多く、また関連する単元も、さらには時間も限定されているなどの条件の中で、食に関する全体計画が継続的で発展的、いわゆる生きてはたらく計画にまで高まっているかという疑問が残るところで、私にとつては

さらには時間も限定されているなどの条件の中で、食に関する全体計画が継続的で発展的、いわゆる生きてはたらく計画にまで高まっているかという疑問が残るところで、私にとつては



「給食時間のメニュー」に関する指導

大きな課題となっています。

**Q** その課題解決のためには、実践あるのみだと思いますが、今後の展望などをお聞かせください。

例えば、五年生が家庭科でバランスのよい食事の学習をしても、自立してその知識や技能を実践に移す機会ははるか先にあるわけです。それまでの実践は常に保護者とともにありますから、保護者がよい食の環境を整えれば、その中で育つ子どもは、将来自らの食の環境を整えていく資質や能力を身につけるのではないのでしょうか。食育は、保護者の理解と協力がなければ効果が半減してしまいます。

食育アンケートで「家で給食の話をしていますか」という問いに対して、「している」という回答が実は五十五%しかありませんでした。ですから、もっと話題性のある学校給食に取り組みなければならぬと思っています。

そのためのキーワードの一つが「発信」です。これまで、給食試食会を一年生の保護者を対象に行っていました。今年からミニ給食試食会を月一回程度開く予定です。保護者や幼稚園の先生、地域の方などいろいろな方々に気軽に参加いただき、少人数で給食のことや子どもたちのことを話したり課題を共有したりすることで、学校給食や食育の改善に役立て、その情報を食育だよりやホームページで発信していこうと考えています。この取組を「給食サポーターズ」と呼んでいます。いずれは、レストランのシェフなど、料理の専門家にも参加していただき、プロの視点から学校給食を見てもらう取組も行つてみたいと思っています。

学校から発信する何気ない「ひとこと」が、家庭や保護者にとつては意外な「ひとこと」として食の話題が広がることがあると聞きました。「発信」を大切に、これからも瓦屋流食育の確立を目指して精進してまいります。



インタビュー風景

(インタビューア：山本 晃久)



### 大好きな二十六人とともに



光市立光井小学校

教諭 井上 七海

新規採用教員として、光市立光井小学校に着任し、約五か月がたちました。この五か月は、この仕事の責任の重さや自分の理想に近づけないもどかさを感じながら、日々追われ過ぎてしまっているうちに、あつという間に過ぎてしまいました。

私が、受け持っている二年生の子どもたちは、生き物が大好きで、元気いっぱいです。そんな二十六人の子どもたちと、「指示する・される」という関係ではなく、「がんばる子とその支援者」のような存在でありたいという思いで私の教員生活がスタートしました。

こんな思いでスタートしたにも関わらず、悪戦苦闘の日々でした。がんばろうとしている子どもを十分見取ることができず、子どもが困っていることに気付くことができませんでした。自分を情けなくも思いました。そんな時、周りの先生方はいつも、温かい言葉をかけてくださり、親身になって相談に乗ってくださいます。そのおかげで、学級の再スタートを切る事ができました。その後、少しずつではありますが、私の指導や意識が変わり、私と子どもたち、子どもたち同士の信頼関係が強くなってきました。



国語「ふぎのとう」の授業より

これからも、一番大切にしたいことは子どもたちの思いや願いを受け止め生かすことです。決して、目に見えている行動だけで判断するのはなく、その行動の裏にある思いや願いを感じ取ることが出来る教員になりたいです。これからも、壁にぶつかることは、幾度となくあると思います。しかし、子どもへの心に寄り添い、子どもたちのことが大好きだという思いを伝えながら、一緒に成長していきたいです。

### 人との繋がりを大切に



柳井市立大島中学校

教諭 池田 幹太

「教師という職業は人との繋がりが大切だ」。このことを私は五か月で強く感じました。私はこの春に大学を卒業し、新規採用の社会科教員として柳井市立大島中学校に着任しました。始業式の日、初めて大島中の生徒と出会い、素直さ、優しさを感じ、これからの教員生活が楽しみにになりました。また先生方も温かく、雰囲気も和やかで、本当に良い学校に着任したと感じました。自分の夢であった中学校教員としての新しい生活は学生生活から一新し、毎日が初めての体験ばかりで新鮮でわくわくするものでした。

その一方で、私は授業に対して不安を感じていました。「大学を出たばかりの自分に全学年の社会の授業を教えることはできるのだろうか、自分の指導で生徒がきちんと理解できるのだろうか」といった不安に押しつぶされそうになり、自分が教員としてこれからやっていけるのだろうかと思うこともありました。そんな時、先輩の先生が「先生の頑張りなら大丈夫だよ」と声をかけて一緒に授業の流れを考え、てくださったり、生徒が「先生の授業面白いです!」「明日の授業なににするんですか!楽しみます!」と言ってくれたりしたことで、「よし、明日も頑張ろう!」と思うことができました。



道徳授業での助言風景

このように、いつも自分を支えてくれるのは自分の周りにいる人たちの力です。この先、多くの先生方、生徒たち、地域の方々と出会っていきと思えます。その二つの出会いや人との繋がりを大切にしながら日々、精進していきたいと思えます。



理想の養護教諭をめざして



山陽小野田市立赤崎小学校  
養護教諭 河井 結紀子

赤崎小学校で養護教諭として働き始めてから早いもので四か月が経ち、無事一学期を終えようとしています。本校は、二百四十六名の児童が通っており、心身の不調を訴え一日平均十五名ほど、最も多い日では三十名ほどの児童が来室します。

着任した頃は、三月まで学生だった私にとって初めてのことでばかりで、右も左もわからないうえに一人体制ということに大きな不安を日々感じていました。また、「子どもたち一人ひとり」として向き合い、小さなサインや変化に気づき、課題解決に向けて子どもと一緒に考えていくことができる」という自分が理想としていた養護教諭と、自分の仕事ぶりがほど遠いことや、想像をしていた養護教諭の仕事内容と実際の仕事内容の違いに衝撃を受けたことを今でも覚えています。

日々、カレンダーと向き合い計画を立てながら、目の前にあることを必死にこなし、五月には二人の実習生を受けもちました。時には不安な気持ちで押しつぶされそうになって涙した日もありましたが、今となっては良い経験をさせていただき、改めて「養護教諭」について考える機会となったように思います。

今では、かかわりの少ない児童とかかわるために、担任教諭の協力の

もと、給食時間、順次学級を巡り給食と一緒に食べたり、下校時間に下駄箱の所へ行き、挨拶プラス一言を実践したりと様々なことに挑戦しています。今こうして、様々なことに挑戦できるのは、子どもたちの笑顔や元気な姿にパワーをもらい、赤崎小学校の校長先生をはじめとする周りの先生方がいつも温かく見守り助けてくださっているからだと思っています。また、幸せなことに本校の特色として分校が隣接しており、困った時にはいつでも優しく教えてくださる心強い分校の養護教諭の先生もおられます。このように、温かい安心のできる環境で働くことができ、感謝の気持ちと幸せな気持ちでいっぱいです。

これからも、大好きな子どもたちの命を預かっていることに責任をもち、理想の養護教諭に近づけるよう、周りの先生方から様々なことを吸収し、日々挑戦と反省を繰り返しながら学び続ける養護教諭でありたいです。



中休みの保健室

さまざまな変化に気付き

支援できる養護教諭



萩市立田万川中学校  
養護教諭 中島 あすか

本校は開校十七年目、全校生徒五十九名の小規模校です。山口県の北端に位置し、島根県津和野町や益田市に隣接しています。広大な山や海に囲まれており、自然豊かな土地にあります。また、全国で五番目にコミュニティ・スクールになるなど、地域との連携・協力を大切にしている学校です。そのような中で育ってきた子どもたちは、温かい保護者や地域の方に支えられ、のびのびと生活しています。学

年間や男女間の仲も良く、授業や行事、部活動の中で、協力しながら楽しんで過ごす姿が見られます。また職場には、頼りになるベテランの先生方が多くいらつしやいます。困ったときは話を聞いてくださり、助言や指導をしていただいています。このような恵まれた環境の中で勤務できていることに、感謝の気持ちでいっぱいです。

新規採用として赴任して、五か月が経ちました。普段は、主に校務室(職員室)で仕事をしています。保健室の利用者がゼロの日も多くあるからです。そのような中で、私は養護教諭として、どのように子どもたちに関わればよいのだろうか、私ができることは何だろうか、と悩んでいました。

しかし、それぞれの先生方の仕事ぶりを拝見し、教育相談も担当する中

で、私は、「しっかりとアンテナを張っている養護教諭」でありたいと思うようになりました。毎朝生徒一人ひとりが記入する健康観察の内容、挨拶をしてすれ違った時の表情や、給食の時の様子など、日々しっかりと観察していると、子どもたちのさまざまな変化に気付くことができます。保健室内のことだけでなく、教育活動全体を通してアンテナを張り、声かけや指導・支援のできる養護教諭になりたいと思っています。

まだまだ未熟な養護教諭ですが、子どもたちから様々なことを学び、また、自己研鑽にも励みながら、日々成長していけるよう努力していきます。



委員会生徒と打ち合わせ



### 新規採用教員として



山口県立山口高等学校

教諭 兎玉 大英

平成三十一年度に高等学校教員として山口県に採用され、山口高等学校に赴任しました。教科は英語、一年生の授業を担当しています。今までは臨時的任用教員として西市高等学校と豊北高等学校に合わせて三年間勤務しました。この四月からは本校の先生方と生徒たちのパワーに圧倒されるながらも、少しでも生徒の力になれるよう日々努めています。

本校は来年で創立百五十周年を迎える歴史と伝統を持ちながらも、革新的な雰囲気と活気にあふれています。校訓である「至誠剛健」や栗林正和校長が定めた三つの行動目標、「立志勉勵・自主考動・協働共創」をもとに生徒たちは主体性と積極性をもって勉学や校内の活動に励み、先生方はそれを全力で応援しておられます。

教科指導においては先輩方のご指導を頂きながら、日々多くを学ばせて頂いています。その反面、学んだ事をなかなか実践できない事に歯がゆさを感じることもしばしばですが、生徒の成長に勇気をもらいながら指導にあたっています。オールイングリッシュでの授業は、初めは生徒にとっては戸惑うこともあったようです。しかし、日々の反復と彼らの成長もあつて徐々に受け入れられてい

ます。また、この四月から初めて部活動の主顧問を任せられ、弓道部の指導にあたっています。私自身もわずかですが弓道の経験があり、採用初年度にこのような機会を頂き感謝の念にたえません。しかし実際に部の運営を任せられるとなると予想以上に難しく、二人の副顧問の先生方に支えて頂きながら、また部員たちの意見に向き合いながらより良いかたちを模索しています。

これからも、採用までに応援して下さい。先生方と現在指導して下さいの皆様への感謝を忘れずに、生徒のために職務に励みます。



オールイングリッシュで授業に取り組む

### 私の目指す授業



山口県立萩高等学校

教諭 井本 和晃

新規採用の教員として萩高等学校に赴任し、はや五か月が経ちました。分からないことばかりで戸惑うことも多々ありましたが、無事に二学期を迎えています。

私は、萩市の田万川出身であり、初任校が萩高等学校であることは、とても恵まれていて感じています。ある程度見知った町であることや、地元への近さなどは、確かに初任という様々な不安や悩みを和らげてくれています。そして、何よりも故郷のために働いているという喜びが、今の私のエネルギーとなっています。

さて、萩高等学校の教員として、私は今年度、一年生の化学基礎（探究科は理数化学）を担当しています。授業をする中で、私が強く思っていることは、生徒に様々なことに興味や疑問を持つてほしいということです。知識の定着も大事なことでありますが、それよりも、ある現象に対し、興味や疑問を持つてることの方が、私は大事だと思っています。なにより、私自身、日常で見られる様々な現象について考え、調べ、新しいことを知ることが、とても楽しく感じます。ぜひ生徒にも、同じ経験・活動をしてほしいのです。これは、現代社会において求められている、主体性や思考

力に通ずるものがあると思います。そのような能力の育成のためにも、授業では、生徒実験や身近な現象、生活と化学との関わりを、積極的に取り入れたいと考えています。

赴任してから五か月経ち、まだまだではありますが、少しは慣れてきた部分もあります。今後はより一層教材研究に励み、先輩教員の方々にもアドバイスを積極的に頂き、私の目指す理想の授業の実現に向け、精進していきます。



化学基礎の授業に臨む



## 日本ハワイ移民資料館

大島大橋を渡り、右折して大島方面へ。小松開作の手前から県道一〇三号へ左折し、要所の案内板に従って進むと目的地「日本ハワイ移民資料館」です。

大島郡は、江戸時代中頃以降人口の増加が著しく、明治十八年（ハワイ移民が始まった）ころには限られた土地で約七万人が暮らすほどに膨れていました。そのころ全国的な不況に自然災害が加わり島の生活は困窮していました。この窮状をしのぐため、大島郡では伝統的に大工や石工、船乗りなどによる出稼ぎが盛んだったそうです。

一方、ハワイでは、十九世紀の半ばから砂糖産業が急速に発展し、サトウキビの栽培から収穫までの労働力を海外からの移民に求めていました。当時のハワイ政府は、日本との交渉を重ね、明治十八年、日本側がハワイへの渡航を認め、すぐに移民の募集が始まりました。大島郡の窮状を知る山口県は、大島郡からハワイへの渡航募集に特に力を入れ、郡や村の役場もその募集に努力しました。こうして始まったのが、三年間の契約労働としてハワイに出稼ぎに行く移民、いわゆる「官約移民」でした。当時の島民にとって、ハワイでの好条件は耳寄りな話で、第一回官約移民では、大島郡出身者が全体九百四十四人の内三分の一を占めていました。その後、明治二十七年まで二十六回に渡りこの官約移民が続けられました。この間、大島郡からハワイに渡った人が約三千九百人にのぼり、大島郡が「移民の島」として知られるようになりました。



「官約移民の歴史」コーナー

当時の移民の中には、財産を蓄えて帰国する人も多く、そのうわさを聞き移民に期待を寄せ、「官約移民」の後にも「私約移民」や「自由移民」という形でハワイに渡っていきました。この「日本ハワイ移民資料館」には、年間約三千五百人の入館者があり、そのうち約三百人は、ハワイからのツアー旅行者だそうです。ここでは、明治十八年から四十年までの間にハワイに渡航した全国の人々約十三万五千人のデータを検索することができます。施設を訪れた日系三世・四世の関係者が、このシステムで自分のルーツを見つけることができた時には、涙を流して喜ばれるそうです。



和風建築の資料館入り口

この建物は、移民時代にサンフランシスコに渡った方が成功を収め帰国した後、昭和元年に建てたものでしたが、町の移民資料館の建設計画が持ち上がった同時期に遺族より寄付の申し出があり、資料館として活用することとなりました。和洋折衷の立派な建物で、構造や部材的にも価値が高いとのこと。また、ハワイ在住の人々からも、当時の町長の資料館立ち上げの話に共感し、たくさん資料提供や協力があつたそうです。資料館立ち上げ当時の大島郡には四つの町がありましたが、それぞれの町に眠る資料も提供いただき、「日本ハワイ移民資料館」が平成十一年二月にオープンしました。

和風建築の玄関を入ると最初に、移民時代にハワイで暮らす人々の大集合パネル写真に迎えられます。館内は全て畳張りで、各部屋ごとに「ハワイとの交流」や「官約移民の歴史」など様々なコーナーが設けられており、大島とハワイの繋がりが理解し易く資料展示されています。また、映像を通して理解できるようにと、元は蔵だったといわれる部屋にはシアタールームも整っていました。特に「移民達の労働と生活」の部屋には、所狭しと生活グッズも展示してあり、パネル写真と併せて移民の人々の暮らしや苦勞を偲ぶことができます。このコーナーには、日本人労働者がプランテーションで働きながら唄った「ホレホレ節」が流されており、遠い異国で祖国を思いながら唄われていたことが想像できる日本らしいメロデーが郷愁をさそいます。

「この和風が、何よりも見学者に喜ばれる。大切なことは数ではなく感動だと改めて感じる。当館へのアクセスはやや難しいが、来られる方は歩いてでも来てくださる。そして感動していただける。今後は、この感動をリピーター増へと繋げること、そして、外国人訪問者へのスムーズな対応を図りたい」とは、木元眞琴館長さんの言葉でした。

「周防大島町になぜハワイ？」という筆者の疑問を一気に払拭することができた訪問でした。



「移民達の労働と生活」コーナー



入り口正面のお出迎えパネル

住 所：742-2103 大島郡周防大島町西屋代2144番地  
TEL 0820-74-4082 FAX 0820-72-4133  
開 館：9:30~16:30  
休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日）  
入館料：大人400円 小・中学生200円  
（20名以上の団体 大人：320円 小・中学生160円）  
URL：www.towatown.jp/hawaii



# 第18回やまぐち教育の日 第47回教育県民大会柳井大会 ご案内

- 1 主催** (一財)山口県教育会 (公財)山口県ひとづくり財団 山口県青少年育成県民会議  
山口県小学校長会 山口県中学校長会 山口県高等学校長協会  
山口県退職校長園長会 山口県公立高等学校等退職校長会 山口県退職公務員連盟  
(一財)山口大学教育学部同窓会 山口県PTA連合会  
山口県公立高等学校PTA連合会 山口県私立中学高等学校PTA連合会  
(公財)山口県私立幼稚園協会 山口県国公立幼稚園・こども園連盟  
山口県国公立幼稚園PTA連合会 (一財)山口県保育協会 (公財)松風会  
(一社)山口県子ども会連合会 山口県公民館連合会 山口県社会教育委員連絡協議会  
(公財)日本教育公務員弘済会山口支部 (公社)日本教育会山口県支部

- 2 共催** 柳井市教育委員会  
**3 主管** 一般財団法人山口県教育会 山口県教育県民大会柳井大会実行委員会  
**4 後援** 山口県 山口県教育委員会 柳井市 山口県市長会 山口県町村会  
山口県市教育委員会協議会 山口県町教育委員会協議会

**5 期日** 令和元年11月16日(土)

**6 会場** アクティブやない 柳井市柳井3718番地16 TEL0820-24-0081

**7 大会主題** 「明日を拓く」 ～伝えたいふるさと・つなげる絆～

**8 大会日程** 12:00～ 受付

12:20～ **【第1部】 柳井の伝承活動の紹介**

- ・阿月子ども神明太鼓
- ・伊陸神楽
- ・月性剣舞
- ・合唱「柳井の歴史」

13:00～ **開会行事**

- 国歌斉唱
- 教育賛歌 「明日を拓く」 斉唱
- 挨拶 大会会長 倉増 誠彦 様
- 祝辞 山口県議会議長 柳居 俊学 様
- 山口県教育委員会教育長 浅原 司 様
- 柳井市長 井原 健太郎 様
- 来賓紹介
- 表彰 「金子みすゞ賞」 童謡詩入賞者表彰及び朗読  
「わたしの志」 作文入賞者表彰及び朗読



開会行事 (山口大会)

14:15～ **【第2部】 実践発表**  
**柳井支部の取組み「ふるさと再発見(5年間)のあゆみ」**  
発表者 山口県教育会柳井支部会員

14:40～ **【第3部】 討論会**  
**学校・家庭・地域の連携を語る「わたしたちにできることは……」**

- ・登壇者
- 学校関係
  - 柳井市立柳井南中学校長 秋田 和美 様
  - 保護者関係 (PTA)
    - 柳井市立伊陸小学校運営協議会委員 三浦 寿子 様
  - 地域社会関係
    - 柳東連合自治会長 中田 達生 様
- ・コーディネーター
  - 柳井市教育委員会学校教育課長補佐 中西 淳 様
- ・講評
  - 山口県教育庁義務教育課教育調整監 藤井 一憲 様
  - (一社)山口県子ども会連合会専務理事 田中 円城 様



実践発表 (山口大会)

16:00～ **閉会行事**

- ・開催地挨拶
- ・次回開催地挨拶 (下関地区)

終身会員の紹介

江山 稔 様 (防府)

柳井 崇史 様 (防府)